

平成 24 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金
次世代航空宇宙関連産業国際競争力強化支援事業

平成 24 年度 航空機関連技術動向調査委託事業 仕様書

1. 事業目的

中部地域は航空宇宙関連の生産拠点が集積し、生産額シェアは航空機・部品をあわせて 5 割、航空機体部品で 7 割を占めるなど、国内最大の航空機製造拠点であるが、全地球規模の国際競争（技術力向上、低コスト化）が激化しており、円高基調の中での競争を強いられる日本の航空機関連産業について、その全体の底上げが喫緊の政策課題となっている。

こうした中、平成 20 年度から、当地域では航空宇宙産業の振興に向け、地域の産学官が連携して支援を行う枠組みとして「航空宇宙産業フォーラム」を立ち上げ、「研究開発」・「販路開拓」・「人材育成」の 3 つを柱とした航空機関連産業の高度化支援を行っている。とりわけ、航空機関連産業が中部地域の基幹産業として成長を遂げるためには、更なる海外市場の取り込みが必要であるが、同フォーラムでは、海外販路開拓に意欲のある中堅・中小部品サプライヤーを主な対象に、パリ・エアショー（平成 21 年、平成 23 年）、ファンボロー・エアショー（平成 22 年、平成 24 年）への出展・マッチング支援を行う等、海外販路開拓のノウハウ蓄積と共に、海外メーカーからの直接受注獲得に向けた取組みを実施しているところである。このとき、中堅・中小部品サプライヤーが大手機体メーカー等のニーズを汲み取り、単独で研究・開発して、提案していくのは膨大な時間・労力を要するところであり、産学連携によるこれらサプライヤーの技術高度化を推進するための支援活動を実施する。

以上の流れを踏まえて、今後、戦略的に海外市場と競争していくために、欧米の航空機開発先進国における航空機技術の動向を調査し、アジア No1 航空宇宙産業クラスター形成特区として、グローバルな競争力を確保するための技術戦略の構築を行う。

2. 事業内容

欧米の機体メーカーは、次世代機に適用すべき技術として、地球規模の社会的要請の高まりから環境適合性の飛躍的向上を実現する技術を最重要と捉えている。この観点から、誘導抵抗の減少を介して燃料消費量の節減に結びつく機体構造重量の軽量化が最優先にて追求されている。そのために、複合材料の適用拡大を目指して、製造の更なる低コスト化、材料の力学的特性の向上等の研究・開発が推進されている。他方、アルミ・リチウム合金がリチウム量を減らすことと他の合金添加成分の最適化によって特性を改善させており、今後の進化の度合いによっては構造材料の適用率にて優位を占める可能性がある。

以上の状況を踏まえて、アルミ・リチウム合金材及び熱可塑性樹脂系材料に関わる技術並びに全機レベルの要素技術について、最近の技術動向を調査する。

3. 業務内容

(1) 文献等調査業務

請負者の知見及び文献等の活用、要すれば出張ベースによる情報収集活動を通じて、欧米の航空機産業先進国における技術動向について調査し、調査結果を取りまとめる。

(2) 報告書の作成

調査結果、成果等をまとめた事業報告書の作成。

4. 事業実施期間

契約締結の日から平成25年2月28日までとする。

5. 納入物

本事業全体の事業内容、実施概要及び成果に関する調査報告書を作成し、納入する。

電子媒体：1枚（CD-ROM）

紙媒体：3部（カラー：1部、白黒：2部）

6. その他

業務の遂行において疑義が生じた場合は、（社）中部航空宇宙技術センターと協議し、その指示に従うものとする。